

主催 社団法人 農村環境整備センター

# 「田んぼの学校」指導者養成研修（現場指導者コース①） in 福岡

～参加者募集のご案内～

H22.12.17～19  
福岡県<sup>みやま</sup>八女市星野村に  
て開催します

「農地・水・環境保全向上対策」にかかる活動などで、  
農業農村を活用した環境教育活動等を  
安全に楽しく実施するためには、  
自然体験活動の指導にかかる知識と技術が必要です。

この研修は、フィールドでの実習を中心に  
自然体験活動の指導にかかる知識や技術を学ぶものです。

多くの方のご参加をお待ちしています。

この研修で学ぶ技術は、住民参加型で行う各種計画づくりやワークショップなどにも活用できます。



宿泊先「星野温泉 池の山荘」



鹿里の棚田（研修フィールド）



鹿里の棚田での研修の様子  
（昨年度の様子）

～ 農業農村整備分野、自然体験活動分野等との連携 ～

## ●農業農村工学会技術者継続教育機構

本研修は、農業農村工学会技術者継続教育機構の認定プログラムに申請中です。

## ●自然体験活動推進協議会（CONE）

本研修は、CONEリーダー養成事業の認定申請中です。本研修修了者のうち、希望される方は、CONEリーダーとしてCONEに登録できることになる見込みです。

## ●「農地・水・環境保全向上対策」

本研修の参加にかかる費用の一部支出は、「農地・水・環境保全向上対策」の経費として認められています。

## 1. 目的：

農業・農村を遊びと学びの場として活用する環境教育活動を実施する際の一般的な手順や留意すべき点、体験活動の指導方法等を理解し、実施に関わることができる人材を育成する。

## 2. 主催：社団法人 農村環境整備センター

## 3. 開催日：平成22年12月17日（金）12時30分 開始（12時から受付） ～19日（日）15時30分 終了 <2泊3日>

※ 電車で行く方には「JR 鹿児島本線 羽犬塚（はいぬづか）駅」からの送迎を行います（送迎をご希望の方には、改めて時間をお知らせします）。  
行き：羽犬塚（はいぬづか）駅 → 星野村総合保健福祉センター そよかぜ  
帰り：星野村総合保健福祉センター そよかぜ → 羽犬塚（はいぬづか）駅

集合場所：星野村総合保健福祉センター そよかぜ

〒834-0201 福岡県八女（やめ）市星野村麻生 10775-14 TEL:0943-52-3165

## 4. 会場：

### 【研修：1日目、3日目】

星野村総合保健福祉センター そよかぜ 研修室

〒834-0201 福岡県八女市星野村麻生 10775-14 TEL：0943-52-3165

### 【研修：2日目】

八女市星野村鹿里（ろくり）集落地内（鹿里公民館）

### 【宿泊】

星野温泉 池の山荘（星のふるさと公園内）

〒834-0201 福岡県八女市星野村 10870-58 TEL：0943-52-2082



(研修会場については、変更する場合があります)

5. 対象者：農村地域での体験活動の指導を行う役割を担っていかうとされている方。  
このような役割を担うことを期待されている方。また、農業・農村を遊びと学びの場として活用する環境教育「田んぼの学校」や「子ども農山漁村交流プロジェクト」に現場指導者として関わっていかうとする方。  
※国・県・市町村で農業農村整備や農村振興等にかかわる技術者はもとより、「農地・水・環境保全向上対策」活動組織や水土里ネット、NPO、農業者等を広く対象とします。  
特に、自然体験活動の経験は問いません。

6. 定員：30名（最少催行人員15名）

7. カリキュラム：5ページのとおり

8. 参加費（予定）：

- |         |          |                     |
|---------|----------|---------------------|
| (1)受講費  | 30,000円  |                     |
| (2)保険料  | 500円     |                     |
| (3)宿泊費  | 12,000円  | [朝食(2、3日目)を含む]      |
| (4)食事代  | 6,000円程度 | [2、3日目の昼食、1、2日目の夕食] |
| (5)交流会費 | 1,500円程度 | [1日目の夜]             |

- ※ (1)受講料と(2)保険料は研修開催後、指定の銀行口座にお振込みいただきます。  
※ (3)宿泊費等については各自精算となります。池の山荘（宿泊地）より領収書が発行されます。  
※ (4)食事代、(5)交流会費は当日集金させていただきます。

9. 申込み・問合せ：

所定の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXまたはメールにて以下の宛先にお送りください。

**12月3日（金）18：00を締め切りとします。**

**（社）農村環境整備センター 技術指導グループ**

**【FAX宛先】03-5425-2466**

**【メール宛先】kankyou-kg2@acres.jp**

申込用紙は、当センターホームページ（<http://www.acres.or.jp> トップページ「お知らせ」）でダウンロードすることもできます。

お問合せは（社）農村環境整備センター 担当：藤田・北澤・守山までお願いします。

**TEL 03-5425-2461 E-mail kankyou-kg2@acres.jp**

10. 申込の受理および受講決定：

お申し込みは先着順に受理します。

最少催行人数に達せず中止となる場合は、12月10日（金）にご連絡させていただきます。

## 協力団体・講師のご紹介

### ◇協力団体

#### 野外教育研究所 I O E

(子ども農山漁村交流プロジェクト九州ブロックコーディネート組織)

1986年5月に野外教育・社会教育・国際交流・生涯学習の事業化・専門化を目指し、青少年活動の拠点として設立した民間の専門事業所。

地球・自然・環境・地域・国際・健康をキーワードに、人と人、人と自然、自然と文化をつなぐ事業の企画と実践を「教育」という視点で展開している。

### ◇講師

#### 北島 淳朗 長崎県グリーンツーリズムアドバイザー

1959年長崎県佐世保市生まれ。1998年、鹿児島県南九州市川辺町の長谷小廃校跡で自然体験やものづくりを通じ、人と自然の関わりを学び、新しい農村の可能性を探る非営利農村自然学校「かわなべ森の学校を開校し地域づくりに取り組む。

2005年、郷里佐世保市へ帰郷後、社会福祉業に携わりながら、地域づくりのアドバイザーとして、九州内のツーリズム活動の支援や人材育成、地域の実践活動への参加、『九州のムラへ行こう』出版事業などツーリズム振興に広く関わっている。

#### 山口 久臣 野外教育研究所 I O E 所長

1954年熊本県人吉市生まれ。東海大学海洋学部海洋資源学科卒業。東京の地質コンサルタント会社に勤務の後、熊本へ帰郷。1986年「野外教育研究所 I O E」を設立。

自然体験型環境教育、阿蘇くじゅうエコツアーのガイド・インタープリテーション、子どもの長期キャンプに関する野外教育論および野外キャンプ全般、環境地域づくり（「自然学校」、ツーリズム）のプロデュース、コーディネーション、NPO・NGO活動と経営マネジメントおよび協働パートナーシップ、欧州の環境地域づくり論、米国のNPO論・自然学校論などを専門としている。

現在は、NPO法人阿蘇ミュージアム理事長、NPO法人自然体験活動推進協議会（CONE）理事などをつとめている。

#### 土居 元 土居自然学校

1966年、福岡県出身。日本体育大学・社会体育学科卒業後、全国の自然学校の草分け国際自然大学校に20年勤める。国際自然大学校では、「人と自然とのかかわりの中で前向きに生きている人（アウトフィッター）を育てる」理念のもと、指導者養成所副所長、日野春校校長代理、千葉自然学校設立現場責任者（国際自然大学校より出向）を歴任。

2008年に地域・団体・個人のための自然学校を開設。自然体験活動・自然学校をキーワードにした企画・指導・施設運営、指導者やツーリズム担い手のための養成講座・社員研修・講演といった実践活動、地域づくり・中間支援組織の仕組みづくりといったマネジメント活動などに取り組んでいる。

## カリキュラム（案）

【1日目：12月17日（金） 場所：星野村総合保健福祉センター そよかぜ】

時間	講義・実習	概要
12:00	受付	「星野村総合保健福祉センター そよかぜ」にお集まりください。 希望者には羽犬塚駅からの送迎を行います。 昼食は各自で済ませておいてください。
12:30	開講式・オリエンテーション	
13:00	自然体験活動の理念と「田んぼの学校」について	「田んぼの学校」についてや、自然をフィールドとした体験活動の意義、体験活動から得られるもの、指導者の役割などについて学びます。
14:00	参加者相互の理解 ーアイス・ブレイキングー	うちとけあいの時間。うちとけあい、雰囲気づくりなどを通じた活動の導入方法を学びます。
16:00	自然の理解① ー自然のしくみを知るー	生物多様性など農村における“自然”について学び、参加者ご自身の地元について見直しをしてみます。 また、星野村の実践者から農を活用した体験活動などを紹介していただきます。
18:00	プログラムづくりの基礎知識（企画法の学習）	田畑や里地里山をフィールドとした体験プログラムをつくるための基本的な考え方や企画づくりの方法を学びます。
19:00	夕食・情報交換会	参加者間の情報交換、活動の課題を共有する時間です。

【2日目：12月18日（土） 場所：八女市星野村鹿里地内】

時間	講義・実習	概要
7:30	朝食	
9:00	人・自然・社会・文化を知り、その関係を学ぶ ー民俗、歴史、自然体験などー	星野村の鹿里地区をフィールドとして、農の営みや地域の歴史・文化などから地域を知るためのポイントを学びます。
12:00	昼食	
13:00	自然体験活動の指導法 ー田んぼをフィールドとした自然体験・案内・指導の手法ー	午前中の講義・実習を踏まえ、自然体験を通じた地域の特徴の示し方、体験活動における指導や案内の方法を学びます。 また、鹿里地区での取り組みを実践者から紹介していただきます。
17:00	自然の理解② ー自然のしくみを知るー	
18:00	夕食	
19:00	安全対策について① ー危険予知と安全指導、安全管理ー	自然体験活動におけるリスクマネジメント（危険予知、安全管理など）について学びます。
21:00	自由時間	

【3日目：12月19日（日） 場所：星野村総合保健福祉センター そよかぜ】

時間	講義・実習	概要
8:00	朝食	
9:00	自然体験活動の基礎技術	グループに分かれ、屋外と屋内でのワークショップ研修を行います。
12:00	昼食	
13:00	安全対策について② —救助と救急法—	緊急時の応急処置などについて学びます。
15:00	閉講式／ふりかえり	研修会での体験、学んだ知識やノウハウを整理します。
15:30	解散	希望者には羽犬塚駅への送迎を行います。

- \* これまで、自然体験活動等の指導経験がない、あるいは、少ない方を対象としたカリキュラムとしています。研修運営もこのような点から十分に配慮いたしますので、自然体験活動や、体験型の研修に不慣れな方も安心してご参加ください。
- \* ご参加のみなさんの関心や立場、経験等も考慮し、また体調などもうかがいながら実施しますので、カリキュラムは一部変更することがあります。
- \* 講習の進捗に合わせ、適宜休憩をとります。
- \* 屋外での実習が多いため、動きやすい服装でご参加ください。また、雨天でも基本的に屋外には出ますので雨具（セパレート型のレインウェア等）もご準備ください。（天候の状態により、屋外研修を変更する場合があります）